

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校第2			
○保護者評価実施期間	2025年11月24日 ~ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月14日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者様に寄り添った支援ができる事業所。 ・送迎対応。	・最大限、利用者様のニーズに沿った支援の計画と実施 ・家族支援では実際に担当する指導員が対応することで保護者様の安心感と信頼感の共有。 ・療育目的を明確にしたイベントの開催 ・SNSやブログの積極的な発信により、専門的情報や楽しい情報を共有することで、利用者様の関心を得ている。	・「工夫していることや意識的に行っている取組等」を継続し続けることで、より信頼感の定着につなげる。 ・利用者様についての情報共有をさらに徹底し、全職員が同じ目線・同じレベルで対応出来る体制づくり。特に繊細な利用者様の対応に向けての共有。
2	送迎業務により、自己通所が難しい方にもご利用いただくことが出来る。特に学校/幼稚園との連携を強化し、要望に沿った送迎計画を立案する事が出来る。	時間に余裕を持った行動の実践	送迎方面的集約により、多くの方が送迎車両を利用する事が出来る取り組み
3	他に完全個別療育事業所が無い地域柄、ピンポイントでの問い合わせが多く、個々のニーズに深く対応する事が出来る。	地域の関係機関との関係構築を行い、療育に生かすことが出来ている。	完全オーダーメイド療育の更なる構築と、他施設との差別化の強化

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用者様に寄り添うことによって、逆に保護者様からのニーズとのズレが起きることがある。	・保護者様の理想との若干の差が起きる時がある	・まずは利用者様に寄り添う事が重要になるので、保護者様のご意見を聞きながら、事業所の方針や支援の意図を明確に示す。
2	施設構造が個別療育対応に向いているため、手狭さが否めない。	開所時(2018年)の法基準によるもの	レイアウト変更等により、小集団イベントにも対応できるよう対応している。
3			

保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		公表						
事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校第2						
		公表日 2026年 2月 14日						
		利用児童数 6 回収数 6						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	2				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	5			1		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			1		
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができているだと思いますか。	6						
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6						
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6						
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2		1			

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	1			・まだ慣れていないので泣いてしまうことがある	・送迎時の添乗配備の徹底、聞き取り実施により、ニーズの再確認と快適に過ごしていただける環境作りの徹底
	29	事業所の支援に満足していますか。	6					

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校第2				公表日	2026年 2月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・出来る限り利用者様すべてに広く使って頂けるよう配慮している	・無駄のないレイアウトへの変更	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・必ず「マンツーマン」を確保する配置	・どの職員も同じレベルで対応する	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>	・最低限、事業所内のバリアフリーを実施	・建物の構造上、バリアフリーが難しい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・公休の複数職員重複を出来るだけ防ぐ	・運営や加算の面から都合をつけている	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・個室完備で対応している	・半個室のため他の利用者様への配慮が必要	
業務 改 善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		<input type="radio"/>	・日常的な情報共有の確立	・イベントも振り返りがしっかりとできると良い	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・例年実施し、HPに公表	・100%の提出率になるように対策	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・運営会議、職員面談、1on1の実施	・面談の全職員の実施均等化	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	・HPへ公表している	・第3者の具体的意見を得る必要性がある	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・研修制度が確保されている	・業務の関係で研修への完全参加にならない事の改善	
適 切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・HPに公表、行政への申請	・規定通り実施している	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・報連相の充実、利用者様の情報を常にできる環境づくり	・保護者様の話を聞く機会や職員間の情報共有を充実させることでさらにより良い計画が作成できる	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・毎月1~2回の会議実施により全職員で共有している	・個別支援計画等、本来の作り方などを再確認して統一する必要性。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・実施している	・今後も継続	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・確認している	・今後も継続	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・設定されている	・今後も継続	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・実施している	・今後も継続	

供 給	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>	・オーダーメードの徹底を守り、保護者様との面談を数多く実施している	・保護者様のニーズと事業所の方針を更に一致させること
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>	・集団活動は毎月のイベントが中心となっているがバランス良く実施している	児発小集団活動について、更に詳細を話し合う必要性がある。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>	・声掛けとPCでの共有の確立	・情報共有について改善が進んでいる
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>	・終礼以外の情報共有意識づけ	・出来る限り終礼を実施する
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>	・徹底している	・今後も継続
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>	・実施している	・今後も継続
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>	・セルフプランの利用者様が大部分のため、あまり参加機会がない。	・相談支援事業所との連携強化
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>	・学校、幼稚園、保育園との連携実施	・今後も継続
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>	・支援会議やその他不定期での情報共有を実施中	・他デイ様との情報共有を積極的に行う
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>	・出来る限り実践している	・事業所(クラ・ゼミ)からの働きかけも継続
	(28~30は、センターのみ回答)			
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	(31は、事業所のみ回答)	<input type="radio"/>	・未実施	・今後実施を検討
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		
児 童 発 達 支 援 計 画 の 作 成 と 評 価	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>	・全員ではないが実施	・完全実施を目指す必要あり
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	・面談、電話等での情報共有の徹底	・更に強化をしてゆく
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	・全員ではないが実施	・完全実施を目指す必要あり
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	・完全実施している	・今後も継続
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>	・完全実施している	・今後も継続

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		・完全実施している	・今後も継続
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		<input type="radio"/>	・出来るだけタイムリーに対応し、悩み等を早急に解決するよう対応している	・送迎利用者様多いため、対面が難しいところがあるが、今後は更に徹底
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		・コロナ禍前のようにイベントへの保護者参加を推進する	・送迎業務があるため保護者向けのコミュニティを作ることが難しい
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		・対応している	・今後も継続
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		・HP、LINE、Instagramを活用している	・今後も継続
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		・特に配慮している	・今後も継続
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		・特に配慮している	・今後も継続
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		・地域への開放が進んでいない	・イベントや見学機会を広く発信してゆく必要あり
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		・実施している	・今後も継続
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		・実施している	・今後も継続
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		・申告を受けた事について対応	・保護者からお知らせがあった場合のみ、今後は全員の情報収集
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		・未実施	・医師の指示書があつた例はない。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・実施している	・今後も継続
	50 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		・周知している	・今後も継続
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		・実施している	・今後も継続
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		・対応している	・今後も継続
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			・記載している	・今後も継続